

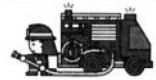


火災・救急件数(1月末日現在)

- ◆火災 13件【前年比 +4件】
- ◆救急 2,398件【前年比 +128件】



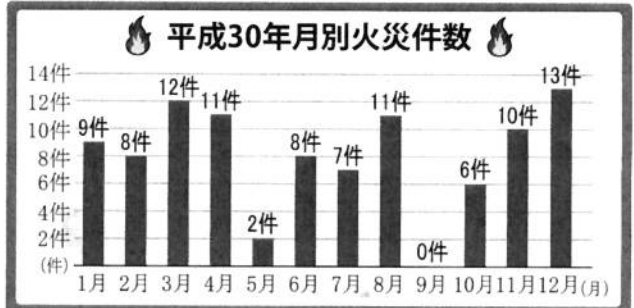
平成30年火災件数について



- ・本市の平成30年の火災件数は97件(前年比+2件)で、3年続いて100件を下回りました。
- ・また、月別の火災件数はグラフのとおりです。ちなみに9月は火災がなく、1か月の間に1件も火災がなかったのは、昭和31年10月以来、実に62年ぶりのことです。
- ・火災による死者は4人(前年比-1)で、そのうちの3人が65歳以上となり高齢者の占める割合が高くなっています。

【火災予防のポイント】

- ・家のまわりに燃えやすいものを置かない、たばこの不始末をしない、コンロを使っているときは、その場から離れないようにしましょう。



春の火災予防運動 Spring Fire Festival

3月1日から7日にかけて「春季火災予防運動」が実施されることに併せて、より一層の火災に関する知識を高めてもらえるよう『春の火災予防運動 Spring Fire Festival』を開催します。消防音楽隊による演奏をはじめ、子どもから大人まで火災予防に対する理解を深められるイベントとなっておりますので、是非、ご来場ください。

- 【日時】平成31年3月3日(日) 午前10時~11時
【場所】市川1丁目1番1号 JR市川駅構内コンコース
【内容】消防音楽隊の演奏
・住宅用火災警報器の広報
・火災予防広報グッズの配布
・子どもの消防服装着体験

【問い合わせ】西消防署 323-0119



♪火災予防の想いをのせて演奏します♪



消防服を着て、君も消防士になろう



災害発生時の心得



ちょっと待って一斉帰宅

《むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を》

- ・例えば、駅にいる方は駅で、職場にいる方は職場で、学校にいる方は学校で、自分の身の安全を確保し、その場で落ち着いて状況を把握しましょう。
- ・発災直後に状況を確認せず、慌てて帰宅を開始すると、路上や駅周辺が混雑し、集団転倒などに巻き込まれたり、火災や余震による沿道建物からの落下物による二次災害に巻き込まれる恐れがあるなど、大変危険な状態となります。
- ・また、帰宅・送迎の車などで道路が渋滞し、一斉に徒歩帰宅をはじめた方々が路上にあふれることにより、救急・消防・警察などの緊急車両の通行が妨げられる恐れがあります。

安否を確認しましょう

- ・まずは慌てず落ち着いて、自分の安全を確保し、家族等の安否確認を行いましょう。
- ・発災後、しばらくは電話がつながりにくい状態が続きますので、災害時に有効な「災害用伝言ダイヤル171」や「災害用伝言板サービス」などを活用しましょう。
- ・安否確認方法については、日頃から家族で話し合っておくほか、災害用伝言サービスの利用方法について、確認・体験しておきましょう。(毎月1日や15日などが体験日となっています)
- ・公衆電話や携帯電話メール、インターネットを利用したLINE、TwitterやFacebookなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)が比較的つながりやすくなっています。

徒歩帰宅支援の取り組み

千葉県を含む9都県市では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援に関する協定を締結しています。

これらの店舗では、災害時に水道水やトイレの提供のほか道路交通情報などを可能な範囲で提供していただけます。こうした店舗には、ステッカーが掲示されていますので日頃から帰宅経路の店舗の場所を確認しておくことで災害時に役立ちます。



ガソリンスタンド

コンビニエンスストア
ファミリーレストラン



災害用伝言ダイヤル
171
伝言録音は **171**
伝言再生は **171**
↓ ↓
1 2
市外局番からの電話番号



①まずは身の安全

②家族等の安否を確認

③安全な場所で正しい情報を得る

平成30年の救急件数 23,570件

過去最多を更新



救急車の適正な利用に皆様のご理解ご協力をお願いします

救急車の呼び方とポイント

近年、全国的に救急車の出動件数は増加傾向にあります。本市における昨年の救急件数は23,570件で、前年と比較し1,059件増加しました。医療機関に搬送された人数は、21,549人で傷病程度別に見ると、入院を必要としない「軽症」が最も多く約51%を占めております。

緊急ではない人が救急要請した場合、急な病気や事故で緊急に救急車を必要とする人のところへ遠方の消防署から出動することになり、本来救える命が救えなくなる可能性があります。

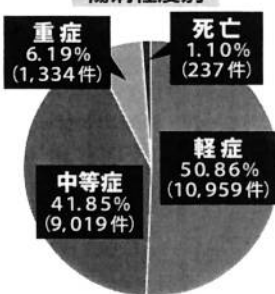
本市には、12台の救急車を配置しておりますが、救急車は地域の限られた資源ですので、緊急性がなく自分で病院に行ける場合や定期的な通院などは公共交通機関などを利用していただくようご理解ご協力をお願いします。

クール CHOICE



賢い選択が地域を守る

傷病程度別



＜119番通報時に伝えること＞

- ①救急であることを伝える
- ②救急車に来てほしい住所を市川市から伝える
- ③具合の悪い方の症状を伝える
- ④具合の悪い方の年齢を伝える
- ⑤あなたのお名前と連絡先を伝える

正しい救急車の
使い方を学ぼう



＜通報時のポイントは！＞

- ①応急手当が必要な場合は、指令センターから電話で指示されます。自分のできる事を行い救える命を救いましょう！
- ②人手があるときは、救急車の誘導をお願いします。
※消防局では、応急手当の講習会を開催しています。詳しくは、市公式Webサイトをご覧ください。

＜事前に準備しておくと便利なもの＞

- ①保険証、診察券、内服薬やお薬手帳。
- ②乳幼児の場合は、母子手帳、おむつ、哺乳瓶やタオルなど。
- ③お金、靴など。

ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

こども(15歳以下)

- かお**
顔色が悪い
- むね**
呼吸が苦しそう
- て・あし**
手足が硬直
- あたま**
頭をぶつけて意識がない
けいれんがある
- おなか**
激しい下痢や嘔吐で意識がはっきりしない
便に血がまじっている

おとな

- 顔**
顔半分がしびれる、ゆがみがある、うまく話せない
- 手・足**
しびれ、片方に力が入らない
- 頭**
突然の激しい頭痛
- 胸や背中**
突然の激痛
息切れ、呼吸困難
- 腹**
突然の激しい腹痛
血を吐く

救急車を呼んだほうがいいのか判断に迷ったときは

市川市急病医療情報案内 (あんしんホットダイヤル)



※携帯電話やPHSからもご利用できます
通話料無料、市川市民専用
非通知では、利用できません。

その他電話相談窓口

【千葉県救急安心電話相談 # 7009】

具合が悪くなり、自分で病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったときに

【相談日時】 平日・土曜日 午後6時～11時
日曜日、祝日 午前9時～午後11時
年末年始、GW

【電話番号】 #7009

※ダイヤル回線、IP電話、PHSからおかけの場合はTEL 03-6735-8305

【こども急病電話相談 # 8000】

子供が頭をぶつけた。発熱がある。嘔吐・けいれんしたなど。相談には看護師が応じアドバイスをします。また必要な場合は小児科医に電話を転送します。

【相談日時】 毎日・夜間 午後7時～翌午前6時
【電話番号】 #8000

※ダイヤル回線、IP電話からおかけの場合はTEL 043-242-9939

※相談は無料ですが、通話料金は利用者の負担となります。また、あくまでも電話によるアドバイスであり、診断や治療はできません。

スマートフォンで簡単検索

【全国救急受診アプリQ助】

アプリをスマートフォンにダウンロードして症状を自分で入力すると緊急度を色別(赤、黄、緑)で表示してくれるサービスです。119番通報する際、選択した症状を伝えることでスムーズに要請することができます。



医療機関を受診しましょう

緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう。



今すぐに医療機関を受診しましょう

できるだけ早めに医療機関を受診しましょう。



救急車を呼びましょう!

いますぐに救急車を呼びましょう。



総務省消防庁 Q助案内サイト